

# 困難を抱える女性への支援事業【仙台市】

## 地域の実情と課題

- ・女性は、様々な年代で貧困などの生活上の困難に陥りやすい状況にある。
- ・生理用品など生活するうえで必須な物品の入手が難しい女性の存在も報道などで指摘されている。
- ・敷居の高さを感じるなどの理由で相談窓口につなげられない女性も一定数存在すると思われる。

## 事業の特徴

- ・出張型相談事業  
小物作り体験などを合わせて実施し、参加へのハードルを下げた。
- ・レスパイト事業  
対象者の状況に応じて、滞在期間中に居所支援や生活保護手続き支援を進めるなど、次のステップに進むための支援を行った。
- ・生理用品無料配布事業  
受け取った方が適切な相談窓口につなげられるよう、各種相談機関の情報やアウトリーチ型相談事業のイベント案内を同封した。

## 事業の効果

- ・出張型相談事業  
相談につなげることができない女性の現状の一部を顕在化できた。支援団体間の今後の連携に向けた関係づくりの場ともなった。
- ・レスパイト事業  
既存の制度ではカバーしきれない支援の必要性が明らかになった。
- ・生理用品無料配布事業  
支援につながっていない人に、生理用品と合わせて支援先情報を届けることができた。

## 目的・目標

- ・出張型相談事業: 既存の相談機関につなげられない女性が気軽に相談できる環境を提供する。  
【数値目標】出張相談における来場者数 延べ300人  
【達成状況】延べ347人
- ・レスパイト事業: 次のステップに進むために休息が必要な女性に対しその場所を提供し、自己決定できる力の回復を促す。  
【数値目標】レスパイト事業利用者数 10人  
【達成状況】9人
- ・生理用品等の無料配布: 相談機関等へのつながりを作る機会として、生理用品(相談機関等の情報を同封)を配布する。  
【数値目標】生理用品等の配布数 10,000個  
【達成状況】10,000個

## 連携団体

- 「若年女性支援情報交換会」※以下構成団体
- ① 公益財団法人せんだい男女共同参画財団
  - ② 仙台市
  - ③ ①の関係団体

## 今後の課題

- ・出張型相談事業  
参加者が安心して過ごせる環境を提供するための会場レイアウトや実施日時の見直し
- ・レスパイト事業  
利用者のタイミングで本事業を利用できるよう通年で実施できる体制が必要
- ・生理用品無料配布事業  
支援が必要な人に直接届くよう、配布場所や配布数の再検討

# 事業の概要

## 【出張型相談事業】

・公的機関等に相談に来ることが難しい人を対象とした出張相談を6回行い、女性相談事業の相談員その他、貧困・DV・若年妊娠・子育て支援等各支援団体の相談員や社会福祉士などの専門家に気軽に相談できる環境を提供した。小物作り体験などを合わせて実施し、参加へのハードルを下げるとともに、ほっとできる場を提供した。



会場の様子



チラシ

開催場所：市内中心部（青葉区）×2回、他4区×1回

## 【レスパイト事業】

・何らかの困難を抱えるものの、DV・貧困など既存のシェルター入所の枠組みに当てはまらない女性を対象に、心と体を休めるための居場所を提供し、自己決定できる力の回復を促した。  
・対象者の状況に応じて、滞在期間中に居所支援や生活保護手続き支援を進めるなど、次のステップに進むための支援を行った。

実施場所：仙台市中心部ホテル 延べ宿泊日数：35泊

## 【生理用品等の配布】

・相談機関等へのつながりを作る機会として、各種相談機関の情報やアウトリーチ型相談事業のイベント案内を同封し、生理用品を仙台市男女共同参画推進センター、各区役所等、出張型相談事業の会場で配布した。子ども食堂やフードバンク実施団体等、支援団体へ周知した。



配布物一式



相談先紹介リーフ

配布数：10,000個

## 連携先

民間支援団体

市保健福祉事務所

市配暴センター事業

女性相談事業

子育て支援施設

など